

優秀賞

ブラインドウォーク

笠井 健太 (大学2年生：東京都)

ブラインドウォークとは、アプリが決めた目的地に歩いて到着を目指すゲームです。現在地と移動範囲を設定すると、アプリがランダムで目的地を決めてくれます。この際ブラインドウォークには、目的地の方角と距離だけが表示されます。目的地の名前は表示されず、具体的な道案内も行われません。方角と距離をもとに自分で進む道を決め、目的地への到着を目指します。

私は知らない場所を歩く時こそ、歩く楽しさが生まれると考えています。歩いていて偶然見つけた店に寄り道したり、珍しい花を見つけたり、景色の綺麗な場所を見つけたりと歩く際の楽しさは無限大です。しかし、現代では目的地を入力すれば最短の道順をアプリが提示してくれます。そのため、知らない場所であったとしても、スマートフォンさえみて歩いていれば簡単に目的地にたどり着くことができます。下を向いて歩いていたら、道に広がっている魅力に気づくことはできませんし、作業的に歩いているだけでは、歩くことを楽しいとは思えません。また、行ったことのある場所だったとしても、その場所にはまだ見ぬ魅力がたくさん詰まっているはずで、普段通っている道をいつもと同じように歩いているだけでは見つけることのできなかつたようなものを、見つけることができるかもしれません。

現代では、運動不足による体力の低下や肥満になる人が多く、自動車やバスなどの交通手段の発達によって歩く量が少なくなったことがその原因の1つとして挙げられます。また、新型コロナウイルスによる外出自粛やテレワークなどの影響によって歩く量がさらに減っている人が多くいると考えます。このアプリで歩くことへの楽しさを実感し、歩くことを習慣化して健康で病気に強い社会を目指したいと考えています。